

もち
【餅・もち・モチッ！】

12／14 もちつき大会のようす



上：一晩、浸水させた「もち米」を蒸す。

右：「うす」に移したもち米を「きね」でつく。



上：おいしそうな「おぞうに」
下：きなこもち・いそべもち セット



おかげさんたちが、おもちとおぞうにを作っています。

ちゅうがくせい てつだ
中学生もお手伝い!!

お正月には「鏡餅（かがみもち）」

- ①だいだい → 一族が代々（長い間）元気に栄えるように
- ②うらじろ → 家族仲よく、ココロがきれいになるように
- ③ゆずりは → 親から子へ、おうちが引きつがれるように
- ④四方紅・紙垂 → 魔よけ・幸運を
- ⑤三方 → お供え物をおく台



【農水省 HP より】

なぜ「鏡餅（かがみもち）」と呼ぶの？



①なぜ、「餅（もち）」なのか？

◇お米・おもち → 農業の神様の「魂（たましい）」が宿る。

②なぜ、丸いのか？

◇位の高い人がもつ「丸い鏡」 = 「太陽と月の神様」が宿る。
→ 鏡のような「丸い形」のおもち

【わかったこと】

◇ PTAの役員さん、おとうさん・おかあさんたちが協力して、餅つき大会を開いてくれた。感謝しよう!!

◇ 蒸したり、ついたり、まるめたり、おもち作りは手間がかかるね。

◇ 鏡もちには「農業の神様」の「魂（たましい）」が宿っているんだね。